

# 長野県看護大学学報



退任記念講演にて

## 阿保順子前学長から退任のご挨拶



「この4年間はどう総括できるか」と、以前の自分であればそれを真っ先に行っていたでしょう。ですが、今の私の心は「あしたのジョー」の闘いの後のようです。真っ白なのです。「リアリティが希薄なのか？いやそうじゃない。ではなぜか？」答えは、「私はアクチュアリティの中にいるのだ」です。リアリティは既成の現実を、アクチュアリティは現時点で途絶えることなく進行している活動中の現実を意味します。心の動きというものは、たぶんアクチュアリティそのものです。だから、リアリティが希薄なのではなく、まだ私の心は進行し、動いているということなのだと思います。退任しても、心の在処は長野県看護大学の中にあり、皆様とともに在るのだと思います。途絶えることのない発展を願っております。

前学長 阿保順子

## 新学長よりご挨拶

ゴールデンウィークが過ぎ、初夏のすがすがしい季節となりました。新年度より、学長として、気持ちを新たにして、教職員や学生の皆様と共に大学を盛り立てていきたいと思っております。私は、結婚して子どもを育てながら、自分のやれることを続けることが王道だと信じて過ごしています。そして、幾つになっても成長した何かに気づくことが大切だと思います。経験を通して、わが身に問いかけながら、楽しい心で年をとりたいと考えています。よろしくお祈りいたします。

学長 清水嘉子



## 大学院生からのメッセージ



どんなに忙しい状況でも、私たち学生のために時間を割いてくれる。どうしようもない状況に陥り困っている時には、ちゃんと手を差し伸べてくれる。辛い時には耳を傾けてくれる。もちろん厳しい時もありますが、優しさと温かさのある先生です。これからも、私たち学生のこと、よろしくお祈りいたします。

小川紀子さん(大学院看護学研究科博士前期課程2年生)

## 退職にあたって

瞬く間に過ぎた19年間でした。創立時のことで強く印象に残っているのは、見藤先生をはじめ看護の先生方が希望に満ち、高い志をもって看護の未来を切り開こうとされていたことです。そしてその実現のために、常に自身を向上させようと努力されていました。デービス先生は常に素晴らしい知的刺激を与えてくださいましたが、50代60代の先生方がそれに応えて払われた努力と柔軟性の高さに心を打たれました。そうした中で一緒に働かせていただいたことは本当に幸せでした。この伝統が続いていくことを祈っております。

社会・経済学分野特任教授 多賀谷 昭



## 学生からのメッセージ



多賀谷先生ご退任おめでとうございます。一年生の時から多賀谷先生には授業でお世話になり、北山先生と那須(裕)先生との三人組は学生の間でも有名で人気でした。これから卒業研究でお世話になりますが、先生とまた一年間関わることがとても嬉しいです。いい卒業研究が出来るようがんばりたいと思いますのでご指導よろしくお祈りいたします。

下里智香さん(看護学部4年生)





## 新学部長 & 新研究科長より

### ご挨拶

平成7年の開学当時から教員として勤めさせていただいている“古い”教員の1人です。たくさん卒業生・修了生を送り出してきました。今年は、創立20周年の節目で、秋には卒業生シンポジウムを開催します。これを機会に、母校に立ち寄ってくれる卒業生・修了生がもっと増えるといいなと思います。また、県内の看護職の方々にとっても役立つ資源となるよう考えていますので、みなさんからも声を寄せてください。どうぞよろしくお願いいたします。

学部長 安田貴恵子



今日、看護の社会的ニーズは極めて大きく、看護職者には、看護実践、看護教育、看護学への貢献が求められています。にもかかわらず、看護現場の実情は多忙で複雑です。そんな中で働いていると、これでよかったらどうか、もっと良い看護方法があったのではないかと悩んだり考えたりすることも多いのではないのでしょうか。看護現場における疑問や仮説は、看護にとって大切な研究の原点となります。大学院は、教員と学生が一体となって、看護に関わる一つ一つの問いに、向き合い、探求する場です。学生と教員とが力を合わせ、学びの多い大学院にしていきたいと思います。

研究科長 渡辺みどり

### 卒業生からのメッセージ

私は卒業研究を行う際、安田教授に指導をしていただきました。初めての経験で戸惑うこともありましたが、文章の書き方や結果の分析、考察などにおいて様々な視点で研究を見て下さり、私自身多くのことを学ぶことができました。この経験を看護師として働く中で生かしていきたいと思っています。

宮崎聖子さん(長野市民病院、平成26年3月看護学部卒業)

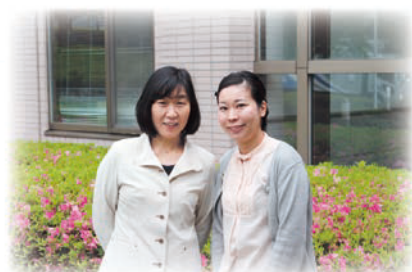


平成25年度地域・在宅看護学分野卒業研究発表会にて

### 大学院生からのメッセージ

渡辺先生と言えば、「時間は与えられるものではなく自分で作るものよ」というお言葉が印象的です。授業では、看護研究と教育、現場についての新しい発見やズバリこうでしょうの明確さ。ドキッとしながらもいろいろ養われているような気がします。お忙しいですが肩こりをほぐしながらこれからもご指導お願いします。

土井愛美さん(大学院看護学研究科博士前期課程2年生)



### 新任教職員ご紹介

今年4月に9名の教職員が着任しました。どうぞよろしくお願い致します。



ここ看護大学は、大変美しい自然環境に恵まれた学舎です。本学は、今年創立20周年を迎えますが、開学以来約1500人の卒業生を送り出しました。より開かれた学校づくりのため、学生の皆さん、いつでも気軽に事務局に声をかけてください。

事務局長 吉川篤明(後列左から2番目)



朝ドラの「花子とアン」の舞台、はなの実家の甲府から来ました。「アルプスがふたつ映えるまち」で真っ青な空に残雪のアルプスと澄んだ空気、広々とした田園風景、これからどんな生活が待っているのか楽しみです。看護の道を志してきた学生達に、人々の健康にたずさわる看護の重要さとすばらしさを伝え、学生達が生き生きと学び立派に成長していくのを微力ですが応援をしたいと思っています。

基礎看護学分野教授 小林たつ子(前列中央)



Welcome

## 平成26年度新入生ご紹介

今年度は学部85名、大学院博士前期課程4名、博士後期課程2名を迎えました。新入生からメッセージをいただきましたので、ご紹介いたします。



入学してから約二ヶ月間、あっという間に過ぎました。祖父母がいる長野県で暮らすことは、私の幼い頃からの夢でした。慣れないことや不安はまだありますが、毎日が新鮮でとても楽しいです。周りには同じ目標を持つ仲間たちがたくさんいてとても励みになります。これから四年間いろいろな経験をして、充実した日々を過ごしながら、勉強を頑張っていきたいです。

大城 萌さん(看護学部1年生)

この大学に入学して、日々感じていることは本当に自然豊かで過ごしやすいということです。また、講義では初めて学ぶことも多く、こんなに覚えられるかなあと思うこともありますが、同じ志を持つ仲間から刺激を受けながら、毎日頑張っています。この素晴らしい環境の中で看護のことや自分の将来についてじっくり考えていきたいです。

塚田佳奈子さん(看護学部1年生)



## 基礎看護実習II報告

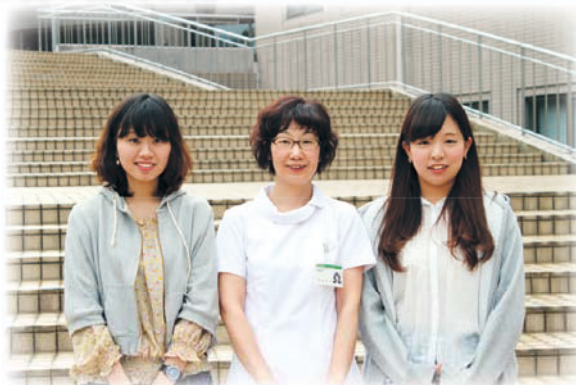


基礎看護実習IIは、学部2年生が臨床の場で初めて患者さんを受け持ち、看護過程を展開する実習です。看護実践を通して、生活過程を整えるための基礎的能力や看護の機能と役割についての理解を深めます。これまで夏に行われていましたが、新カリキュラムに伴い平成25年度は1月、2月に行われました。感染症流行期であり、大雪にも見舞われた実習でしたが、それぞれが体調管理にも十分留意し臨みました。患者さんや指導して下さった看護師さんとの関わりから、看護することの楽しさや、新たな目標と課題を見出す実習ができました。みなさん頑張りましたね！

基礎看護学分野助教 那須淳子



左から  
河合梨香さん、  
那須淳子助教、  
谷口有香さん



実習の始めは的確な素早いケアを心掛けていましたが、患者さんとの触れ合いから、性格やカルテに無い情報なども得られ、本当の気持ちも知ることが出来ました。また、「ありがとう」「あなたの笑顔は素敵だから忘れないで」と声をかけて頂き、心からの触れ合いの上にケアが成り立つことを実感しました。

河合梨香さん(看護学部3年生)

今回の実習では、初めて自分の受け持ち患者さんを担当させて頂きました。当初、不安でいっぱいだった私も先生方や友人に支えられ、無事に実習を終えることができ、改めて自分の“看護観”を確かめる機会にもなりました。今回の実習の経験を生かし、自分の目指す看護に近づいて行けるように日々頑張っていきたいと思っています。

谷口有香さん(看護学部3年生)



# 学生活動報告

## わらわらサークル

私たちわらわらサークルは、長野県看護大学と信州大学合同の医療系学習サークルです。各大学で週一回、合同で月一回学習会を行っています。自分の考えだけでなく、多面的な考えを知ることができ、とてもおもしろいです。今年の8月16～19日に松本で、第57回全国医学生ゼミナールin信州が開催されます。全国各地から400人ほどの学生が集まり、共に学び、共に考え合う4日間です。ぜひ興味のある方は参加してみませんか。一緒に素敵で忘れられない最高の夏にしましょう！



増澤真菜実さん(わらわらサークル長)



## 生協学生委員会 引っ越しお助け隊



生協学生委員会です。私たちは学生の皆さんがより楽しく快適に大学生生活を送れるよう、様々な活動を企画・運営しています。その活動の一つである引っ越しお助け隊という活動は、新入生がすずらん寮へ入寮される際に部屋までの案内やカードキーの使い方などの説明を委員が個別に対応し、アドバイスを行って新入生が春からの大学生活に少しでも慣れていけるようお手伝いしているものです。新入生からは直接先輩から話を聞けて嬉しいという声もありました。今後もこうした活動を続けていきたいと思えます。



すずらん寮の前で、丸山 萌さん(前列左から2番目)と生協学生委員会3年生の皆さん



丸山 萌さん(生協学生委員会前委員長)

## 助け合いジャパン きっかけバス47 ボランティア活動



東北へボランティア活動に行き、遺留品捜索活動を行ってきました。悲しみや苦しみを抱えながらも、前を向いて力強く生きている被災者の方々の生の声を聴き、津波によって変貌した土地を目の当たりにし衝撃を受けるとともに、震災のことを忘れてはならない、もっと多くの人に現状を知って貰いたいと強く感じました。これからも、少しでも被災者の方々の力になれるよう、様々な形で被災地を支援していきたいです。

佐々木真由子さん(看護学部3年生)



前列中央が佐々木真由子さん

# フォトかんだい (平成25年12月~26年5月)

12月13日

生協クリスマス会



2月18日

平成25年度修士論文発表会



2月22日

平成25年度第2回公開講座「身体の深層をみる」、「骨は語る」



2月26日~3月5日

サンフランシスコ看護海外研修



3月4日

平成25年度後期博士論文発表会



3月7日

第16回卒業記念植樹



3月8日

平成25年度卒業式・修了式



4月3日

平成26年度入学式



4月8日~9日

新入生オリエンテーション合宿



5月20日

長野県看護大学生生活協同組合  
第16回通常総会





# 本学の活動についてご報告



## 駒ヶ根市との包括的連携協定

本学と駒ヶ根市は平成26年2月包括的連携協定を結びました。保健福祉の向上、大学の教育・学術研究・社会活動の推進、教育・文化・スポーツの発展・振興、地域コミュニティの発展、人材育成・生涯学習、地域の政策課題研究などに関して連携協力していきます。

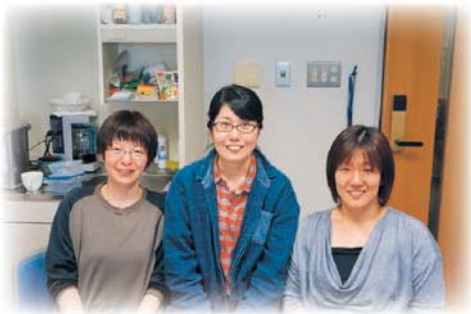


### 杉本幸治駒ヶ根市長からのメッセージ

長野県看護大学では看護師や保健師、助産師などの人材育成を通じ、地域の医療や福祉現場の資質向上に寄与していただいております。更に少子高齢化社会を迎え、看護大学に対する役割や期待は、ますます大きくなっていきます。また、昨年度締結いたしました包括的連携に関する協定によって、看護大学と駒ヶ根市がより緊密な関係を構築するとともに、認知症予防をはじめ、保健や福祉、教育、文化など様々な分野で連携協力しながら、住民福祉の向上につなげることを期待します。



## 大学院博士前期課程精神看護専門看護師コース開設



左から、早藤夕子さん(大学院看護学研究科博士前期課程1年生)、鈴木千穂さん(同2年生)、大藏真理さん(同1年生)

精神看護分野の専門看護師(CNS)は、精神科病院・一般病院・地域において精神看護の高度な知識と技術を用いて直接ケアを実施するとともに、教育・相談・調整技術などを通して間接ケアを実施し、個人及び集団の精神保健問題の解決に向けて看護活動を展開する高度実践者としての役割が期待されています。本学の精神看護CNSコースが平成26年3月に日本看護系大学協議会から専門看護師教育課程として認定されました。これもひとえに長野県民と県当局のご支援によるものです。平成26年度には本コースに3名の大学院生を迎えることができました。どの方も長期履修の制度を活用しながら、仕事と家庭と勉学にバランスをとるといふ困難な生活に挑戦しています。今後、長野県生え抜きの精神看護CNSの養成を目指し、修了生が精神看護CNSとして長野県の精神医療保健福祉に貢献できることを願っています。

精神看護学分野教授 岡田 実



## 平成25年度長野県看護大学研究集会開催

平成26年3月19日、第10回長野県看護大学研究集会が開催されました。例年は本学の助成金を受けている特別研究と県内看護職者との共同研究を発表する場でしたが、今年度は新たな試みとして、本学教員が指導している県内看護職者による研究も10件発表していただきました。県内看護職者による臨床の知は刺激的かつ実践に根差したもののばかりで大学に臨床の息吹を運んでくれました。学内61名、学外25名の参加があり、盛況のうちに終了しました。ご参加・ご協力くださいました教職員の皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

FD(Faculty Development)委員会 東 修





# INFORMATION



## 平成26年度第1回公開講座



### 日本における循環器医療の現状と将来

講師：高橋幸宏先生（榊原記念病院）

日時：9月20日（土）14：00～15：30（受付開始13：30）

会場：長野県看護大学 大講義室（教育研究棟3階）



## 第19回鈴風祭



内山祐奈さん（第19回鈴風祭実行委員長）と神戸秋実さん（同副委員長）



鈴風祭 19th

百花繚乱

～自分の色を咲かせよう～

2014年9月20日～21日



## 創立20周年記念事業



### 記念式典&卒業生シンポジウム

日時：11月22日（土）

記念式典 13：00～ 卒業生シンポジウム 14：30～

会場：長野県看護大学 講堂



長野県看護大学学報 No.38（平成26年7月）

編集・発行 / 長野県看護大学広報・交流委員会

Nagano College of Nursing  
長野県看護大学



〒399-4117  
長野県駒ヶ根市赤穂 1694  
TEL 0265-81-5100  
<http://www.nagano-nurs.ac.jp/>